学校番号	２０５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　古典探求　（数研出版）						
副教材等	四訂版　読んで見て覚える重要古文単語 315（桐原書店） 九訂版　読解をたいせつにする体系古典文法（数研出版） 七訂版　読解をたいせつにする体系古典文法ワーク（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では、引き続き有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、１年生で学んだ文法の知識や重要古語の知識、古典常識の知識を確認し、繰り返し演習することで定着させていきましょう。
・予習として必ず本文をノートに写し、自分で口語訳してみてください。なんとなく口語訳するのではなく、助動詞や助詞の意味も考えてきちんと訳すように心がけましょう。
・「重要古文単語３１５」に基づいた古文単語の小テストを定期的に行います。語彙力を増やすためにしっかり勉強してテストを受けましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めると共に生涯にわたって読書に親しみ自己を主体的に向上させ、我が国言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育成する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	古文 十訓抄	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c:積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	古文 沙石集	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	漢文 史記	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート

		を的確に捉えている。 c:本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。			
	古文 伊勢物語	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:［読］［読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	古文 枕草子	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:［読］「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:意味の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	漢文 思想 論語・孟子・荀子	a:先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b:［読］「読むこと」において、古典の作品や文章について、	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート

		内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。			
2	古文 徒然草・方丈記	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	古文 大鏡	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	漢文 漢詩 中国の詩	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：漢詩についての鑑賞文を	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート

		粘り強く取り組んでいる。			
	古文 平家物語	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ｃ:積極的に登場人物の行動や心情をとらえながら本文を解釈し、学習課題に沿って朗読劇に取り組もうとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	古文 更級日記	ａ：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ｃ：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	漢文 思想 老子・荘子・韓非子	a:先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ｃ：諸子百家の文章から現代	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート

		に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。			
3	古文 源氏物語	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	古文 建礼門院右京大夫集	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c： 平資盛の逸話について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート
	漢文 漁夫辞・桃花源記	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：それぞれの文章につい	定期考査、小テスト、提出物（ノート等）	定期考査	振り返りシート、ワークシート

		て、グループでの話し合いにおいて積極的に意見を発表している。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数
・読むこと　…　（　７０　）時間